



議会だより

News from the Assembly

2011
平成23年

1月25日発行

No.119

昭和56年8月1日
初版発行

- 発行...太良町議会編集委員会
- 〒849 1698 佐賀県藤津郡太良町大字多良1番地6 TEL 0954 67 2151
- <http://www.town.tara.saga.jp/gikai/>



岳の新太郎像

平成22年度 一般会計（補正）
総額 55億千百10万3千円

議会会議録がインターネットで見られます。

太良町議会のホームページ <http://www.town.tara.saga.jp/gikai/>

にアクセスし会議録をクリックしてください。

新年のご挨拶

議長 坂口久信



明けましておめでとございます。

町民の皆さまには、輝かしい新春を迎え、健やかに過ごしのことと心よりお慶びを申し上げます。

また、皆さま方には平素から議会に對しまして、格別のご理解とご協力を賜り、改めて、厚くお礼申し上げます。さて、昨年を振り返りますと、鳩山首相の退陣・菅内閣の発足。宮崎県で発生した口蹄疫問題。円高による業績悪化。尖閣諸島沖での中国漁船と海保巡視船との衝突問題。ロシア大統領の北方領土問題。百十三年ぶりの猛暑による日常生活への影響等々、数え上げ

ればきりがないほど、大きく揺れ動いた一年でありました。

厳しい社会情勢の中で明けた今年は、昨年より良い年であることを願いたいものです。

景気低迷、少子高齢化、複雑多様化する社会情勢の中で、我々議会議員の果たすべき役割と責任は重く、重要なものとなります。

こうした状況を踏まえ、我々議員も住民の代表として何が必要かを見極め、首長と議会の二元代表制の役割を認識し、議決機関としてしっかりとした議論を重ね、町政の監視役としての責務を全うしていく所存でございます。

終わりに、本年が町民皆さまにとりまして、幸多い年となりますことを心からご祈念申し上げ、更には町議会への一層のご支援、ご協力をお願いし、新春のごあいさつといたします。

臨時議会 11月26日

人事院勧告に伴う職員の給与、特別職や議員の期末手当を減額するため、各条例の一部改正

平成22年度(12月)に支給する 期末手当及び勤勉手当の月数「暫定」

職員等	期末手当	勤勉手当	凍結分	月数	
				期末手当	勤勉手当
議員	1.50 (1.65)	-	0.15月	0.15月	
町長	1.50 (1.65)	-	0.15月	0.15月	
副町長	1.50 (1.65)	-	0.15月	0.15月	
教育長	1.50 (1.65)	-	0.15月	0.15月	
職員	1.35 (1.5)	0.65 (0.7)	0.20月	0.15月	0.05月



12月定例議会

会期 12月10日～12月20日（11日間）

主な事業

増額補正

- ・地域共生ステーション推進事業費 4百万円
- ・子宮頸がんワクチン接種 8百68万9千円
- ・その他補正総額 千3百79万円

減額補正

- ・職員等人件費 千4百67万4千円

国民健康保険税条例の一部改正

赤字財政に陥った国民健康

保険の今後の安定的運営を図るため。

指定管理者の指定

太良町立大浦児童館

指定期間

代表理事組合長 村井樹
昭

指定管理者

平成二十三年四月一日か

大浦児童館運営委員会

ら平成二十六年三月三十

運営委員長 合浦善哉

一日まで

指定期間

竹崎城址展望台公園

平成二十三年四月一日か

指定管理者

ら平成二十六年三月三十

SIN産業

一日まで

代表 峰下 眞

備事業に係る太良町の負担

太良町農村公園

指定期間

金が、終了することによる。

指定管理者

平成二十三年四月一日か

大川内区

ら平成二十六年三月三十

区長 杉本一民

一日まで

社会福祉法人に対する助成に関する条例

指定期間

太良町活性化センター

社会福祉法人への補助金

平成二十三年四月一日か

指定管理者

は、社会福祉法に基づく条

ら平成二十六年三月三十

特定非営利活動法人

例を制定し、支出根拠の明

一日まで

たらふく館

確化を図るもの。

太良町健康の森公園

理事長 川下廣海

指定管理者

指定期間

太良町森林組合

平成二十三年四月一日か

平成二十六年三月三十一日まで
を二億四千二百三十八千九百五十円。

設備設置事業
・子宮頸がん等ワクチン接種委託料

後期高齢者医療特別会計補正（第二号）

種委託料

太良町過疎地域自立促進計画

・子宮頸がん等ワクチン接種費用助成金
・消防施設整備費補助金
・職員等人件費千四百六十七万四千円の減額

保険基盤安定負担金（低所得者の保険料軽減制度）の変更と健康増進課の受付窓口整備に伴う備品の購入等百五十三万四千円の増額、

指定管理者

特定非営利活動法人

たらふく館

理事長 川下廣海

指定期間

平成二十三年四月一日から平成二十六年三月三十一日まで

一日まで

進特別措置法により平成二十二年四月一日付けで過疎地域に指定されたため、過疎債などの財政支援措置を受けるために策定された過疎地域自立促進計画（平成二十二年度から二十七年まで）を承認。

補正後の一般会計の総額は、歳入歳出それぞれ五億千百十万三千円。

補正後の総額は、千四百六十二万二千円。

太良町営火葬場新築工事請負変更契約の締結

基礎杭工事において、掘削ができなくなったため、建築工事七百六十六万三千九百五十円増額し、請負額

一般会計補正（第五号）

主なものは、

掘削ができなくなったため、

建築工事七百六十六万三千九百五十円増額し、請負額

九百五十円増額し、請負額

・地域共生ステーション推進事業費補助金
・オストメイト対応トイレ

改定に準じた人件費。

簡易水道特別会計補正（第三号）

総務費十万八千円の減額

は、国家公務員の給与改定に準じた人件費。

水道事業会計補正（第三号）

営業費用二十七万三千円

の減額は、国家公務員の給与改定に準じた人件費。

教育委員会委員の任命

太良町大字系岐三三番地

一

岩永由香里氏

決議を提出

諫早湾干拓事業に対する福岡高裁の判決を受けて、上告を断念するとともに、中・長期開門調査の即時実施を求め

意見書を提出
環太平洋経済連携協定（TPP）交渉参加への慎重な対応を求め、ロシア大統領の北方領土訪問に対し、毅然とした外交姿勢を求め、子ども手当財源の地方負担に反対する

朝鮮高級学校を高校授業料無償化の対象とすることについて

社会教育における町づくりは

山口 光章 議員



答 社会教育行政の充実を図る。

議員 社会教育委員としての職務はどういったものか。

教育長 社会教育諸計画の立案、社会教育委員での審議、諮問に対する答申、建議、意見具申、勧告、研究調査、社会教育指導者への助言と指導、社会教育法第十七条で定められているところである。

Aの関係者、知識経験者等に委嘱をし、豊富な経験をもとに公民館事業に反映させている。

議員 社会教育委員としての職務が本町においてどのような影響を及ぼしているか。

教育長 研修における予算が少ないと思うが、どのような予算の配分をしているのか。

議員 公民館事業の見直し、新規事業の導入等に関し意見をもらっている。

教育長 研修費用が少ないと思うが、平成二十一年度は八回で十五名の参加、平成二十二年度は、十七回で四十四名の参加になっている。

議員 公民館事業の見直し、新規事業の導入等に関し意見をもらっている。

教育長 研修で学んだ事など町民に知らせているか。

議員 社会教育委員の存在感が薄い気がするが。

教育長 現在までのところ「町報たら」などへの掲載はしていない。

議員 公民館事業の計画立案に役立させている。

教育長 今後、社会教育が町の環境づくりに重要な影響が出てくると思うが将来的にどのようなようにしていくのか。

議員 社会教育委員に民間の方を入れれば、もっといい発想とかアイデアが出るのではないかと。

教育長 地域社会において人々があいさつしたり、

教育長 現在、学校、PT

教育長 地域社会において人々があいさつしたり、

交流したり、地域の問題について話し合ったり、地域を活性化したり将来的に社会教育とは地域づくり、町づくり、につながる重要なことと考えている。

議員 社会教育委員の存在が非常に薄く感じられるが、どれくらいの活動をしているのか。

教育長 社会教育委員の会議三回、鹿島藤津社会教育委員連絡協議会三回、佐賀県社会教育連絡協議会研修会一回、九州ブロック社会教育研究大会二日間、人権教育研修会三回、各種まちづくりの大会、催し物、並びにボランティア活動へ積極的に参加を願っている。

議員 県の社会教育委員の会議などどのようなものか。

学校教育課長 平成二十二年度的には、主に青少年問題である。

議員 それらが我が町にどのような影響を及ぼしているか。

学校教育課長 よりよい地域社会、まちづくりを目指す。公民館事業を推進している。

議員 公民館の主な事業に豊富な経験をもとにアドバイスをもらい、公民館事業に反映をさせている。

議員 公民館の主な事業に豊富な経験をもとにアドバイスをもらい、公民館事業に反映をさせている。

議員 公民館の主な事業に豊富な経験をもとにアドバイスをもらい、公民館事業に反映をさせている。

議員 公民館の主な事業に豊富な経験をもとにアドバイスをもらい、公民館事業に反映をさせている。

議員 公民館の主な事業に豊富な経験をもとにアドバイスをもらい、公民館事業に反映をさせている。

議員 公民館の主な事業に豊富な経験をもとにアドバイスをもらい、公民館事業に反映をさせている。



社会教育事業



景気対策を問う

川下 武則 議員

答 特産品の販売拡大を行う。

議員 景気が低迷する中で町民たちの生活は圧迫されている。

町民が元気になるような景気対策の考えは。

町長 リーマンショックを

初め、地球の裏側の一件が外国為替相場、株価等の変動要因となり遠く離れた国、地域の経済、ひいては日常生活まで影響を及ぼすほど世界経済は密接につながっている。太良町の地域経済もこのグローバル化した今日の世界経済と切り離して考える事はできない。

太良町は一次産業の町としてこれまで行政も農

家、漁家の皆さんと連携しながら一次産品に付加価値を高めてもらい、特産品開発及び販路拡大に助成を行っていきたくと考えている。

議員 景気対策の中で、なるべく地元の建設業者を優先的に指名に入れ、どうしても地元でできない部分に関しては、下請でもという考えはないか。

建設課長 工事の発注に当たっては、今、議員が言われるとおりに、町内業者で施工できる分については、なるべく町内業者の方で行っており、下請等についても、なるべく

町内業者を利用してもらいたい。

行政区から多くの陳情がでている中から十五箇所を選定し経済建設委員会で見察を行ったが、景気対策の足がかりに事業の推進の考えは。

建設課長 平成二十三年度は、町単独で六千九百万円と町道の改良分、四千万円と言うふうには、年度より増額している。今後も予算を少しでもふやして、陳情箇所

議員 道の駅で、今後もイベントを続けて、町の景気対策、起爆剤にと考えているか。

企画商工課長 今後につ

ては、住民の皆さんがい

ろいろな形で利用できて

楽しいエリア、またいろ

いろな情報が手に入る、

いろんな催し物が定期的

に行われている場所にし

ていき、道の駅内での売

り上げ拡大に少しでもつ

ながればと考えている。

議員 個々の事業等に景気

浮上について問う。

副町長 今の財政を見なが

ら、どれだけ収入に対し

て支出でまかなえるか、

町の職員の有志をもって

いろいろ議論をしていき

たい。

有明海再生を問う

議員 昔のような宝の海、

有明海の再生のために何が

ための方法は考えているか。

町長 近年、有明海は潮の流れの変化、底質の悪化、赤潮の多発、貧酸素水塊の発生など、漁場環境が悪化している、町民の生活を支える有明海の日も早い再生を国に要望し、太良地区漁業者の窮状を

直接大臣に訴えてきたところで、水産資源の回復技術確立にむけた取り組みをしっかりと要望していきたいと思っている。

議員 一日も早い豊かで明るい有明海の再生をきた

いする。



道の駅・太良



六次産業化への取り組みは

山口 殿 議員

答 関係団体と連携し推進する

議員 国、県が推進している、六次産業化へむけての具体的な考えは。

町長 農林水産物の有する農林水産物を初めとする資源をさまざまな産業と連携して利活用し、新たな付加価値を生み出す地域ビジネスや新産業を創出する六次産業化の取り組みを関係団体と連携し、今後とも推進していきたい。

議員 多良岳山系から明海に至るまで豊富な一次産業資源があり、この資源を使った商品開発の取り組みは。

町長 ワサビ、ノリの加工施設の整備やこれらの加工品の流通販売の促進事業に取り組んできた、町内には多くの農林水産物があり、これらの資源を活用した商品開発の支援に今後も努める。

議員 中山間地域等直接支払制度について

議員 第三期中山間地域直接支払制度が今年度よりはじまったが、地域の活

動内容と、指導はどのようになっているか。

町長 農業生産活動に参加している集落は三十集落で、耕作放棄地の奉仕活動、水路、農道等の管理活動、多目的機能を増進する活動に各集落は取り組まれており、指導は現地確認指導を年に一回経理指導を年に二回実施している。

議員 二期目と三期目とは要件も異なり、協定面積などが減少したと聞くが、二期目との比較はどうか。

農林水産課長 二期目は、協定数に三十二集落、延べ参加者数千十二人、協定面積八百二十七平方メートルであったが、今期の三期目は協定数で三十集落、延べ参加者数は七百九十人で、協定面積は六百五十五平方メートルとなっている。

議員 中山間地域の農家にとってはありがたい制度と考えるが、減少した原因は。

農林水産課長 集落で二つ

の減少となっているが、四集落がやめられ、二集落が新しく取り組みに参加された。

減った原因は農業就業者の高齢化の進行と三期目は十年計画だが、五年の見直しがある。

この先五年間、中山間の取り組みが困難と判断されたのが、減少の原因と認識している。

議員 戸別所得補償制度について

議員 今回行われた全国の知事、首長に対しての政権公約についてのアンケート調査の中で、今年度より支給される戸別所得補償制度について、町長の回答とその理由は何か。

町長 全国自治体トップアンケートの中で農家の戸別所得補償について進捗すべきか中止すべきかについて、「どちらとも言えない」と回答した。米の生産農家を対象に、生産に要する費用、販売単価の差を全国一律単価とし、中山間地などの条件不利地域の対応や、大

を見越して買いたたかれ米価が下落させられること等、モデル事業の結果の実証が必要と思われるためである。

佐賀県知事 市町の首長、二十一人の回答は十一人が制度の中止で四人が推進と新聞等で公表された。

支給金も十一月より配分されている都道府県もあるが、太良町の支給はいつになるのか。

農林水産課長 十二月に入り、既に支払いがスタートしている、口座振り込みなので若干おくれもあるかと思う。

議員 環太平洋連携協定について

議員 環太平洋連携協定、略してTPPと言われており、首相がTPPへの参加検討を表明され、直ちに関係団体、農家などに大きな波紋が広がっているが、TPPに対して町長の考えは。



中山間地域共同利用状況

町長 佐賀県議会も国に対し意見書を提出したところで、政府の新成長戦略実現会議の資料によると、TPP最大の特徴は二〇一五年度までにあらゆる分野の自由化、関税撤廃を実施することであるが、関税による国境措置は効力を失い、多くの農産物が破壊的な打撃を受けるのは必至であり、全国町村長大会でも、TPP反対を明確に表明したところ、参加への慎重な対応を求めるとともに、国の動向を注意深く見守っていききたい。



行財政運営と観光行政を問う

見陣 泰幸 議員

答 行財政、観光ともに充実強化を図る。

議員 行財政運営はこれまでどう運営してきたのか今後どのように考えて運営していくのか。

町長 国県の負担金や補助金、地方交付税など財源の多くを依存しており、今後も変わらないと考えるとおり限られた財源で、最小の経費で最大の効果が得られるよう考えて財政運営を行う。

議員 地域住民のことを理解し、行政運営のことも住民に理解をしてもらうことも大事だと思うが。
町長 町民の声を反映させる町づくりは、私の信条としており、開かれた行政を理念として、地域住民の需要を吸い上げ、行

政運営に反映させたい。
議員 太良町の財政運営は健全に維持をしているのか。

財政課長 町民、議員また職員一丸となった取り組みによって当初の目標を上回る効果が得られ、大変感謝している。
議員 町長もメリハリのついた運営をしていくという事だが。

町長 ある程度集中的にやって、見直すべきは、見直した予算をつけたいと思っている。
議員 移動役場は考えられないか。
町長 穩便に話し合ってもらえば、極力出たいと思っている。

議員 執行部からテーマを考え打ち出しているのか。
町長 年別に分け、意見交換会という形でもいいと思っている。

議員 異業種交流会についてどうか。
町長 商工会の指導員に音頭を取ってもらうよう要望はしている。
議員 観光行政は、道の駅を利用した観光地づくりをどう考えているのか。

町長 観光案内所の設置や町民の発案による事業も含め、充実強化を図る。
議員 遊歩道など、海に出られるような施設をつくる考えはないか。
町長 瀉が堆積しており、滑って落ちる危険性があり、遊歩道は無理だと思

う。
道の駅の正面にある畑地を利用し、観光スポットとして考えている。
議員 太良町は、「月の引力が見える町」を掲げているか。

町長 潮の満ち引きがあるから簡単にはいかならないと思う。
議員 海中道路など作って、船着場にもできる施設は考えられないか。
町長 観光協会の事務所も考えており、船着場は、

広江港の浮き桟橋を利用して漁船組合と連絡を取りながら検討をしていきたい。
議員 レジ通過者百二十万人と数字は観光客としても見過ごせないとかが
町長 色タイイベントもやっており、今年は岳の新太

郎さんの銅像開きを計画している。

議員 観光スポット、発信地として、何か違う考えはないか。
町長 物産祭りなど、農業関係者、異業種の方々に協力を得ながら色んなイベントを計画している。

議員 展望台の利用方法を聞きたい。
企画商工課長 展望台につ

いては、双眼鏡を設置し「月の引力が見える町・太良」の有明海の満ち引きを眺めてもらいたい。
議員 観光も太良の産業として力を入れてもらいたい。
町長 観光協会、旅館組合など連携を取りながら、他の産業のプラスにもなるよう研究をしていきたい。



道の駅太良・展望台



有明海再生対策は

久保 繁幸 議員

答 水産資源の回復に努力する。

議員 漁船漁業の育成と後継者対策は。

町長 環境への負荷を低減し非漁業を実施し漁獲物の共同出荷、地産地消の推進、ブランド化により安定供給及び品質向上させ、都市と漁村との交流をはかり、生活環境の基盤整備を実施し、活性化させ漁業就業者、後継者の育成を進めて行きたい。

議員 育てる漁業対策の推進は。

町長 漁場の造成や改良に取り組み、放流、蓄養、養殖、海底耕運など諸々の事業実施を支援し限られた水産資源を有効かつ持続的に漁業振興に努める。

議員 今年のかき養殖不作の原因究明はされているのか。

農林水産課長 かきは海水温が三十度位になると死滅すること、今年も猛暑続きで水温が上昇し高く推移したのが原因ではないかと聞いている。

議員 三十度以上になった場合、海水温を人工的に

下げる方策はないか。

農林水産課長 現在人為的にはないが、風速六メートルの風が半日か一日吹けば海況は改善すると聞いている。

議員 毎年車エビの四県共同放流事業負担金として三十万円近く出費しているが、利用方法を見直す時期ではないか。

農林水産課長 大浦支所の話では、車エビはほとんど漁獲量が上がってないのと聞か共同事業なので何とも言えない。

議員 海底浄化や海底改善に鉄が見直されているが、鉄炭ダンゴいわゆる竹の炭と鉄の粉を粘土で混ぜダンゴを作り海へ蒔き浄化作用させる方法を知っているか。

農林水産課長 詳細については知らない。

議員 事例はたくさんあつて、どぶ川も鉄で再生したそう、京都大学山田氏の著書があり、そのデータを広島県のキレートマリが調査結果を出しているのだから研究され

用化されたいと思う。

農林水産課長 是非一読して勉強したい。

議員 かに蓄養場の計画はどのように進んでいるのか。

農林水産課長 二十三年度から蓄養環境が自然により近い場所を考え、道越漁港の外側を予定し、風水害に耐え得る構築物で今後協議を進めて行きたい。

議員 諫早湾干拓排水門の開放への強力なアピールについて町長の考えは。

町長 県と共同で判決の結果にかかわらず、知事、県議、沿岸市町、有明海漁協等が一体となり、再度開門要望活動を国に行なう事を意志決定し、国の指導で開門をやるよう再度アピールして行く。

新生太良高校スタート

議員 来春四月から新生太良高校がスタートするが、改編計画は。

教育長 多様な学びができる全日制高校のモデル校として改編され、既存の全日制では十分対応できない不登校経験や発達障害者及び高校中途退学者

で全日制で学ぶ意欲と能力のある生徒を全県から四十名募集し、西部学区募集の四十名と合せ一年八十名でスタートする予定で全県募集入学者は得意科目の評価を比重し傾斜配点をし面接を重視し調査書記載等は参考に

する予定でホームステイ、インターシップも予定し地域の協力を願いたい。

議員 いじめ問題についてはどのように対応をされているか。

教育長 いじめ予防については、教師と児童、生徒間の好ましい人間関係の

醸成に努めることが重要と見え、いじめは絶対許されないものであることを繰り返し強く指導し、いじめを許さない環境整備を推進していく。

議員 問題教師などの報道が多い昨今であるが教師はどうか。

教育長 幸いに問題になるような教師は見受けられないが、月に一度の校長会で服務規律の徹底を指導し資質向上のため研修を行っている。



かき養殖 イカダ



新年度の行財政運営方針は

末次 利男 議員

答 予算枠を含め検討する。

議員 予算は、新年度に実施する事務事業にどれだけ経費をかけるか、経費を賄うための必要な財源をどのように調達するかを計画し、それを金額に示したものである。

住民の行政ニーズは多様化し、要望は無限である、限られた財源で実施に向けた新年度予算編成方針はどう考えているか。

町長 前年と同じ提案でなく、知恵を絞った新規提案の予算化や、過疎地域に対する財政支援措置の活用事業等指示しながら、活性化対策プロジェクトチームで事業見直しや、新事業の予算化を考えている。

議員 決算を終えて、一般会計の性質別構成について義務的経費である人件費公債費等減少し、投資的経費は対前年比四十%近く伸びて補助事業、単独事業の住民サービスに予算執行がなされ基金も平成十七年から十億円増加しているが、辺地債、過疎債、基金等の有効活用の考えはないか。

町長 太良町独自のブランド品等の研究開発費など予算枠を考えている。

議員 行財政運営は手堅く運営され、積極性と健全性がバランス良く執行されていることは評価できるが、今後更に事務事業の見直しや組織の改編等の積極的に進め、行政経費の削減による住民サービスの充実へ努力すべきではないか。

上峰町六課への条例制定、玄海町の町税、保険

税の悪質滞納者へのサービス制限条例等行財政運営の見直しについての考えは。

財政課長 行政サービスの制限は未納の内容を把握するかが一番問題点であり、未収金対策検討委員会の中に提案したい。

総務課長 組織については見直しを図ることで検討会を設置し、鋭意検討し来年度までに見直しをする状況である。

議員 過疎法の目的は人口の減少に伴う地域社会の活力の低下を総合的かつ計画的な対策を実施するために必要な特別措置を講ずる起債措置である。

地域づくり基金条例の目的も、太良町の特性を生かした独創的で個性豊かな活力ある町づくりの事業推進である。

県内下位にある町民所得を活性化に向けた戦略

をメッセージとしての特別枠は考えているか。

町長 予算枠として要望等があれば三年間の研究期間で、ブランド品や六次産業化など新たな施策を展開する。

議員 新年度の予算編成で新たな活性化戦略を見据えた予算枠は考えているか。

町長 各年度の予算については基本的に中期財政計画に沿って計上するが、緊急的な事業など計画外の予算計上に迫られ、財源の確保に苦慮する場合があります。

新しいが、新たな活性化戦略による町勢浮揚は非常に重要であると考え、予算編成の中で予算枠の確保が可能かどうか含め検討する。

議員 町民の声も反映させる町づくりの手段として、

職員が担当制の考えはどうか。

町長 一般的に職員がふだんの業務とは別に地域のトータル的な担当になることは、地域の接点になることから責任重大であり、住民の評価は厳しくなり能力が問われることになる。

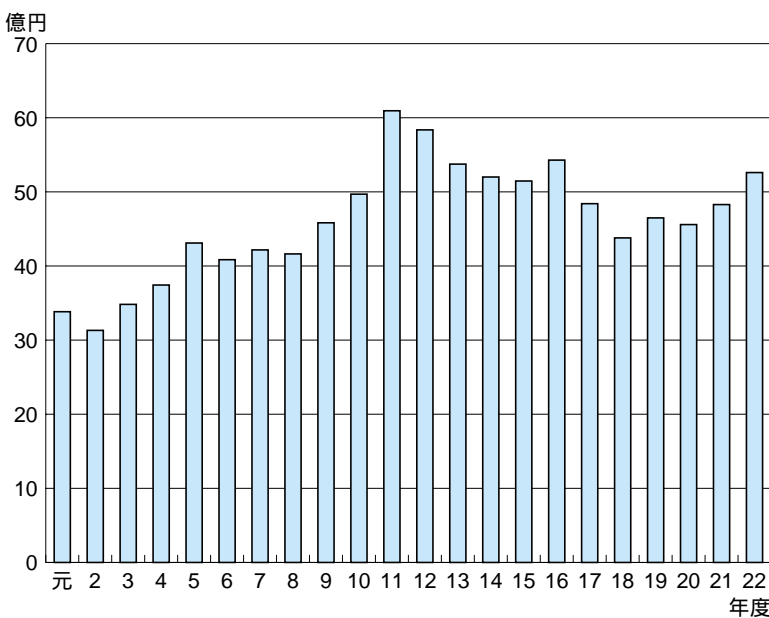
所管外分野も幅広い勉強が不可欠になり業務が加算され、機能、役割、

必要性を総合的に地区担当制の創設について勉強したい。

議員 地域主権住民共働の町づくりには必要不可欠と思うが。

総務課長 もっと地域のことに目を向け、地区の行事、活動に参加しながら自らを切磋琢磨し、行政課題を確実に実施し町づくりに努める。

一般会計当初予算額の推移



決算審査

特別委員会報告

十月二十五、二十六、二十七日の三日間開催した。

まず水道事業会計は、悪質滞納者には、給水停止等も公平を期すためには必要であり、経営形態を含めた創意工夫を研究されたい。

次に町立太良病院事業会計は、地域医療を支える中核病院として、医師確保、町民のニーズに応え一人でも多くの町民が利用されるよう努力を望む。

一般会計、特別会計は、歳入歳出ともに適正に運営されているが、行政効果の客観的判断と今後の改善と工夫、反省事項の把握と活用によって、行財政運営に役立てる事を再認識されるようお願いしたい。



経済建設常任委員会視察

十二月二日

行政区よりの陳情三十六件の中から十五箇所を経済建設常任委員会で事業の進みぐあい視察した。
結果として順調に進んでいた。



経済建設常任委員

山 下 平 光 章
川 山 牟 木 下 山
下 口 田 下 平 光
武 則 繁 力 章
則 嚴 雄 義 人

視察風景



議会の活動

10月～12月

10・4	消防ポンプ・積載車引渡式	11・17	全国議長会及び県選出国会議員との行政懇談会
10・5	市町村行政講演会	11・20	十夜市太良町全員まつり
10・6	県民体育大会出場結団式	11・22	広域農道総会
10・8	同和問題市町講座	11・24	総務常任委員会所管事務調査
10・14	西部広域環境組合視察研修	11・25	消防団幹部との懇談会
	国民健康保険運営協議会	11・26	臨時議会
	議会だより編集委員会	12・2	経済建設委員現地視察
10・16	第63回佐賀県民体育大会	12・6	議会運営委員会
10・19	21年度決算勉強会	12・10	12月議会招集
10・20	議会だより編集委員会	12・14	議員全員協議会
10・22	後期高齢者連合会勉強会	12・15	議員一般質問
10・25	決算審査特別委員会 (25・26・27)	12・17	議員全員協議会
10・29	町村議会議長会	12・18	議案審議
	鹿島市議会との交流会	12・18	岳の新太郎銅像除幕式
11・1	道路関係期成会要望活動	12・22	政経セミナー合同例会
11・2	後期高齢者連合会定例会	12・18	経済建設委員行政視察事後研修
11・4	養豚場現状報告会	12・29	消防団年末特別警戒
11・5	防衛協会視察研修		
11・6	太良町文化祭		
11・9	町村議会広報研修会		
	道路関係期成会要望活動		
11・12	大浦中電子黒板研究授業視察		
11・13	第16回学童駅伝大会		
11・16	道路関係期成会要望活動		
	県選出国会議員との行政懇談会		

三月定例議会は七日に招集予定です。
皆さんの傍聴をお待ちしています。



一月四日成人式風景

編集室より

新たな年を迎えおめでと
うございます。

今年は特に寒さが厳しく
各方面に大雪の被害が出て
いる報道があつており、心
からお見舞い申し上げます。

皆様も風邪などひかない
ように御自愛の程、元気で
日々頑張つて下さい。

また今年は選挙の当り年
であり、国、県、町の選挙
には国民の義務として参加
しましょう。

編集委員会

委員長	木下 繁義
副委員長	見陣 泰幸
委員	牟田 則雄
	山口 廣
	所賀 廣
	平古場 公子